

プレスリリース

2022年11月25日
ヤエガキ醗酵技研株式会社
中部大学

海藻アカモクの成分使って1カ月効果持続する除菌液を開発し販売開始

ポイント

- ・食用海藻の成分を用いた安心な品質
- ・除菌効果が1カ月持続

概要

中部大学生命健康科学部の河原敏夫教授と渡邊卓巳客員研究員（有限会社バイオ研主席研究員）らは、食用の海藻であるアカモク（図1）の生理活性成分を研究し、殺ウイルス活性を新しく発見した。使用したアカモクは中部国際空港護岸に繁殖した常滑産のアカモクで、2010年より中部国際空港株式会社と漁業関係者らが地域資源化を目的として利用を推進してきた。

本アカモク成分が配合された除菌液は、溶媒であるエタノールが揮発した後も殺ウイルス効果が長期間保持されることが特徴。機能性食品の開発と販売を手掛けるヤエガキ醗酵技研株式会社（兵庫県姫路市、長谷川雄介代表取締役社長）がこのほどアカモク成分入り除菌液を開発し、販売を開始する。



図1 アカモク

河原教授らは2020年から、アカモクのアルコール抽出物の殺ウイルス効果に期待して除菌剤としての実用化を目指して様々なウイルスを対象とした研究を行ってきた。その結果、アカモクエキス配合の除菌剤は新型コロナウイルスを含むエンベロープウイルスやノンエンベロープウイルスなどのウイルス、また、グラム陰性桿菌やグラム陽性球菌などの細菌を除去できることを確認した(図2)。ウイルス感染症に対する有用性については中部大学の先端研究センター紀要「総合工学」で公開した。

<http://www.isc.chubu.ac.jp/istr/contents/thesis.php>

試験対象	作用時間	減少率
エンベロープウイルス	10秒	> 99.99
ノンエンベロープウイルス		> 99.99
グラム陰性桿菌		> 99.99
グラム陽性球菌		> 99.99

図2 菌・ウイルス除去効果

ヤエガキ醗酵技研株式会社は中部大学の研究成果を受けて除菌剤の開発に取り組んだ。エタノール水溶液にアカモク成分を配合した試作品を作り、2021年5月～7月の期間、研究開発に協力をいただいた中部国際空港で実証実験を実施した。その結果に基づき、更なる製品改良を重ね、このたび、アカモク入りの除菌液「アカモククリーン」を発売することとなった。一般的にエタノール水溶液だけの除菌剤は、吹き付けた直後だけ効果を示す。これに対して新開発の除菌剤は、エタノールが揮発してもアカモク由来の固形分が残り、最長で1カ月は効果を示した。

問い合わせ先

(商品に関すること)

ヤエガキ醗酵技研株式会社

〒679-4298 兵庫県姫路市林田町六九谷 681

塩谷清博、江見崇

電話 079-268-8070

電子メール kiyohiro.shiotani@yaegaki.com (塩谷)

takashi.emi@yaegaki.com (江見)

(研究に関すること)

河原敏男 中部大学 生命健康科学部 臨床工学科

電話 0568-51-9314

電子メール toshi@isc.chubu.ac.jp

(広報に関すること)

中部大学 学園広報部 広報課

電話 0568-51-7638

電子メール cuinfo@office.chubu.ac.jp